

2021年度 国立国語研究所 日本語教師セミナー(海外)

講座タイトル: 社会変革を志向する新たな日本語教育
—社会の一員としての日本語学習者と「ケース教材」の実践—

主催: 国立国語研究所
共催: バングラデシュ日本語教師会

講座概要

日本社会では、グローバル化の進展にともない、日本語学習者は社会の一員として社会に参加し、活躍してほしいという期待が高まっています。その期待は、日本語教育の内容にも大きく影響を与え、日本語教育に関する法律の成立にもつながりました。そのために、どのような日本語指導が必要でしょうか。モハメッド・アンサルル・アラム先生(ダッカ大学)の「ケース教材」の実践をご紹介します。みなさんと一緒に考えます。

◆スケジュール

10:00~10:10 開会のあいさつ【福永由佳】

10:10~11:20 「日本語学習者に期待される社会参加と日本語教育の新たな役割」

【福永由佳】(質疑応答を含む)

11:20~11:40 休憩

11:40~12:50 「社会参加を目指すバングラデシュ人日本語学習者のための『ケース教材』」

【モハメッド・アンサルル・アラム】(質疑応答を含む)

12:50~13:00 閉会のあいさつ【バングラデシュ日本語教師会事務局長 岡林邦明】

講師



福永 由佳

国立国語研究所 日本語教育研究領域・准教授

博士(日本語教育学)。国内外の日本語教師を経て、1998年より国立国語研究所で日本語教育の教師研修や研究に携わり、2021年から現職。主な業績は『成人教育(adult education)としての日本語教育在日パキスタン人コミュニティの言語使用・言語学習のリアリティから考える』(2020)、『顕在化する多言語社会日本: 多言語状況の的確な把握と理解のために』(2020) など。



モハメッド・アンサルル・アラム

ダッカ大学現代言語研究所 日本言語文化学科・教授

バングラデシュ日本語教師会 会長

博士号(日本語教育学、政策研究大学院大学-国際交流基金日本語国際センター連携大学院)。主な業績は「バングラデシュ人日本語学習者のためのケース教材作成の試み」(『日本言語文化研究会論集』2019)、Japanese Language Education in Bangladesh -Recent Developments and Challenges-. In A. Shyam (Ed.) *Japanese Language Education in South Asia -Issues & Challenges-* (pp 14-38). Hyderabad: The EFL University Press. 2020など。

開催日時

2022年3月12日(土) 10:00-13:00 (バングラデシュ時間)
[日本時間: 同日13:00-16:00]

会場

オンライン開催(Zoom)

定員

100名(予定)

受講料

無料

参加申込

こちらからお申込みください。

<https://is.gd/qzjZ7x>

※ご登録の氏名はカタカナや漢字、もしくはアルファベットでの記入をお願いいたします。



お問い合わせ

国立国語研究所 研究推進課

Email: ninjal-events@ninjal.ac.jp

ダッカ大学 モハメッド・アンサルル・アラム

Email: alam_iml@du.ac.bd

国立国語研究所日本語教師セミナーとは・・・

2016年度から国立国語研究所が実施する、日本語教育水準向上のための日本語教師を対象とするセミナーで、国内と海外で毎年1回ずつ実施します。